

## 再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	河川事業				
地区名	一級河川 豊川水系善光寺川				
事業箇所	豊川市				
事業のあらまし	<p>善光寺川は、豊川市豊が丘町地先の東名高速道路豊川インターチェンジ付近の標高 20m程度の台地部に源を発し、周辺の農業排水及び雨水を集水しながら流下し豊川市平井町地先で小坂井排水樋門より豊川放水路 3k030 地点へ合流する、法河川延長約 2.4 km、流域面積は 10.3 km<sup>2</sup>の一級河川である。</p> <p>豊川放水路との合流点から法河川上流端までの延長 2.4km では流下能力が不足しており、当該流域では、昭和 49 年の豪雨などによる浸水被害を受けている。また、市街地が拡大し、流域の資産が増加していることから、河川の整備が急務となっている。</p> <p>善光寺川は昭和 63 年に一級河川善光寺川河川計画書を作成し、暫々定計画である年超過確率 1/3 (1 時間雨量 38 mm) 程度の規模洪水に対し安全に流下させることを目標に、河道の拡幅や掘削等を実施している。</p> <p>本事業は、特に流下能力が不足している吉添橋 (1k167) から善光寺 5 号橋 (1k735) までの区間について河道拡幅及び堤防嵩上を行い、流下能力 Q=8m<sup>3</sup>/s の河積を確保し、浸水被害を軽減する河川改修を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成 (主要) 目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暫々定計画である年超過確率 1/3 (1 時間雨量 38 mm) 程度の規模洪水に対し安全に流下させることを目標とし、平成 38 年までに整備を完了させる。</li> </ul> <p>【副次目標】 (必要に応じて記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>				
計画変更の推移		事業採択時 (H23)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H23~H38 (予定)	H23~H38 (予定)	変更なし	
	事業費 (億円)	1.30	1.30	変更なし	
	経費内訳	工事費	1.10	1.10	変更なし
		用補費	0.00	0.00	変更なし
その他		0.20	0.20	変更なし	
事業内容	河道拡幅 堤防嵩上 事業延長 L=568m	河道拡幅 堤防嵩上 事業延長 L=568m	変更なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和 49 年の豪雨などで浸水被害が発生しており、下流から改修事業を進めているが、吉添橋 (1k167) から善光寺 5 号橋 (1k735) までの区間 (延長 568m) は著しく流下能力が低く、河川の整備が急務となっている。</li> </ul> <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年 9 月の豪雨により浸水被害が発生している。</li> </ul> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 23 年から 27 年にかけて、豊川市の人口は 0.2%減少しているが、世帯数は 4.4%増加している。また、土地利用状況は、平成 23 年から 26 年にかけて、宅地が 0.9%増加し、農地は 2.1%減少している。このことから、河川への雨水の流出量は、ほぼ同程度と推定できる。(豊川市に対する善光寺川流域の面積比率は 6.3%である。)</li> </ul>			

	判定	<p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p><b>B</b>: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																				
		【理由】 浸水の危険性は事業採択時から大きく変化していないと考えられる。																																																																				
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H23(1年)</th> <th>H24~H28(5年)</th> <th>H29~H33(5年)</th> <th>H34~H38(5年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>・河道改修</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td>0.10</td> <td>0.46</td> <td>0.51</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">0.29</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.211</td> <td>0.050</td> <td>23.7%</td> <td>0.567</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>0.56</td> <td>0.29</td> <td>51.8%</td> <td>1.30</td> <td>22.3%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>0.36</td> <td>0.09</td> <td>25.0%</td> <td>1.10</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.20</td> <td>0.20</td> <td>100.0%</td> <td>0.20</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 護岸工 L=50m</p>			H23(1年)	H24~H28(5年)	H29~H33(5年)	H34~H38(5年)	工種 区分	調査・設計	←	→			工事		←	→	→	・河道改修		←	→	→	事業費 (億円)	前回計画	0.10	0.46	0.51	0.50	実績	0.29					これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.211	0.050	23.7%	0.567	8.8%	事業費(億円)	0.56	0.29	51.8%	1.30	22.3%	工事費	0.36	0.09	25.0%	1.10	8.2%	その他	0.20	0.20	100.0%	0.20	100.0%
			H23(1年)	H24~H28(5年)	H29~H33(5年)	H34~H38(5年)																																																																
	工種 区分	調査・設計	←	→																																																																		
		工事		←	→	→																																																																
		・河道改修		←	→	→																																																																
事業費 (億円)	前回計画	0.10	0.46	0.51	0.50																																																																	
	実績	0.29																																																																				
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																		
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																	
延長(km)	0.211	0.050	23.7%	0.567	8.8%																																																																	
事業費(億円)	0.56	0.29	51.8%	1.30	22.3%																																																																	
工事費	0.36	0.09	25.0%	1.10	8.2%																																																																	
その他	0.20	0.20	100.0%	0.20	100.0%																																																																	
2) 未着手又は長期化の理由	・整備する工法検討などの設計に時間を要し、工事の着手が遅れたため。																																																																					
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 今後の阻害要因は特になし。</p> <p>【今後の見込み】 特に大きな阻害要因は見込まれないため、計画通り平成38年に完了する見込である。</p>																																																																					
	判定	<p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li><b>○</b> これまで事業が長期化していたが、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																				

		<p>【理由】          今後は大きな阻害要因は見込まれないため、計画通り平成 38 年までに完了する見込であるため。</p>
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p><b>継続</b></p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。          継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外          【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】          ・ 想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後 5 年位内に想定規模同等の降雨が発生した場合にその効果を検証すること。          【主な評価内容】</p>		

